

のお隣「天空橋」駅に直結して広がるのが、羽田イノベーションシティ(HiCity)だ。中央を約200mに及ぶ広々としたコリドーが貫き、両脇に連なるビルには、飲食店やライブホール、ホテルといった商業施設のほか、最先端テクノロジー企業のオフィスや先端医療センター、研究開発拠点などが入居する、日本初のスマートエアポートシティである。取材に訪れた昼時には、人気のとんかつ屋にビジネスマンの行列ができ、ビルの屋上では離着陸する飛行機を見ながら足湯を楽しむ観光客、視察に訪れたグループなど、さまざまな人々が行きかっていた。

○空港跡地という難工事を完遂

かつてこの場所は、広い干潟を利用して開港した東京飛行場をはじめ、海水浴場や競馬場も有する行楽



阿部民子 text by Tamiko Abe

Illustration by Shigeyuki Sakata

広大な空港跡地に誕生した新産業創造・発信拠点

羽田空港跡地地区
土地区画整理事業 東京都大田区
2016年●平成28年～

地であった。戦後はGHQによって接収、居住していた3000人余りの人々が、48時間以内に退去を余儀なくされた。1958年になると、日本側に全面返還。「東京国際空港(通称、羽田空港)」と改称されるとともに、航空需要の高まりに合わせて徐々に敷地を沖合へと移転、拡張。そうして生まれた約16・5ヘクタールの土地の一部を活用し生まれたのが、HiCityだ。2020年のまち開きから順次開業し、2023年にグランドオープン。2025年8月には周囲を通行する街路も全面開通し、さらなる歩みを進めている。このまちのコンセプトを、まち

フラ整備などを含む土地区画整理事業の重責を担ったのが、UR都市機構だ。「鉄道施設への影響を回避するために軽量盛土材を使用した」、飛行機の飛ばない夜間にクレーン作業を行うなど、この土地ならではの工夫を重ねまし



周辺の道路も完成してアクセスもスムーズになった
天空橋駅の上に位置するHiCity(羽田イノベーションシティ)。



た。また、従前は空港として使われた土地だけに、地下には電気や通信の線など、中には図面にない線もたくさん残っていました。万が一重要な線であれば多大な影響が出るだけに、航空局などに都度、確認と調整を行い、慎重に作業を進めました」と、URの飯田茂充は振り返る。

○新たな憩いの場を創造

まちびらきから約5年。施設がすべて竣工・稼働、道路も整備されたHiCityでは、まちの充実と発展に向けて、さまざまな動きが加速している。まちの運営を担う羽田みらい開発の辻井康太さんは「大田区と連携しながら日本各地の食文化の発信や先端技術の体験ができるイベントも企画・運営しています。地方自治体や空港関係、海外からの視察も多く、認知度も徐々に高まっているのを感じます」と語る。

「この地をテストベッドとして、自動運転バスを始めとしたさまざまな実証実験が行われており、実際に区の施設に導入したものもあります。今後も区内の企業向けの勉強会や交

づくりを進める大田区の産業振興課産業振興担当係長の伊藤直樹さんに聞いた。

「大田区には約3500もの製造業が集積し、ものづくりのまちとして有名です。一方、社会情勢の変化やテクノロジーの進化に伴い、区の産業も新たな分野へ挑戦する必要があると感じました。そこで、区としてはこの場所を新産業創造・発信拠点として整備し、区内の企業がさらに発展するべく国内外企業との連携を促したいと考え、公民連携でまちづくりを進めてまいりました。加えて、この地は空港に近く、国内および国外にもすぐに飛び立てる立地です。それだけに、区内企業の技術やサービスがこの場所から国内外に広く伝わり、実装される。そうしたグローバル展開も視野に入れています」

新たなまちづくりに伴って必要になったのが、大規模な都市基盤整備だった。地下の浅い部分には東京モノレールと京浜急行、JR貨物という複数の鉄道が走り、上空を飛行機が飛び交い、厳しい高さ制限もある難工事。区画道路や交通広場、イン

流会を行うなどの支援を続け、区民にも還元していきたい」と伊藤さん。また、大田区空港まちづくり課空港まちづくり担当係長の兼重俊介さんは「2028年には、南側の土地に3・3ヘクタールの広大な公園が完成予定です。屋根付き広場や7000㎡の芝生広場も予定され、完成した暁にはHiCityと連携して、さらなる憩いや賑わいが創出できれば」と抱負を語る。

「まちの完成後に我々の事業が表に出ることはありませんが、いったんは人が住まなくなったまちに、また賑わいを取り戻すことができた、その土台を作れたことがとてもうれしい。今後は、昔のように多くの方に愛されるまちになってほしい。事業推進を担当したURの穴水果純も笑顔を見せる。このまちから生まれる「先端」と「文化」が、国内外へと広く飛び立っていく未来に期待が集まる。

—— 社会課題を、超えていく。——

